

町の伝統行事「苅田山笠」を次世代へ 未来に繋がる伝統、苅田山笠を学ぶ

町内の小学校4校で、各区の振興会の方々による「苅田山笠」に関する伝承授業が行われました。この授業では、祭りの特徴や歴史を学び、鉦や太鼓の演奏体験、大祭で使用する岩山の色塗りなどに挑戦しました。子どもたちは、この授業で、町の文化に触れ、将来にわたって地域の伝統を次世代に伝えていく大切さを学びました。振興会の方々は「大人になったら、ぜひ参加してほしい」と期待を寄せていました。



オレンジフェスタ in かんだ 認知症をともに考える一日

認知症啓発イベント「オレンジフェスタ in かんだ」が9月20日に中央公民館で開催されました。イベントでは、ポッチャ大会や認知症の当事者を交えたパネルディスカッションなど、多彩なプログラムが用意されました。さらに、キッチンカーや福祉関連の物品販売、健康相談コーナー、抽選会、パンの配布なども行われ、認知症の方やその家族など地域の皆さまが一堂に会し、認知症についてともに考えるイベントとなりました。



北九州空港で新たな貨物施設が完成 物流拠点化で地域経済を支える

北九州空港で10月1日、新たな貨物施設の竣工式が行われました。24時間利用可能な空港の特性を生かし、物流拠点化を推進する施設で、輸出入の通関手続きを行える事務所や倉庫が整備されました。管理する㈱エアワールド有田社長は「半導体や生鮮品等の取扱いを通じて、地域の方の生活が豊かになることを期待しています」と話しました。2027年8月には滑走路延長により、北米や欧州との直行運航が可能となり、物流需要の拡大が期待されています。



韓国・清州（チョンジュ）を結ぶ エアロK 航空が運航開始

北九州空港で約6年ぶりの新規国際線が9月30日に就航しました。韓国の格安航空会社エアロK航空による清州ー北九州線で、火・木・土の週3日運航します。韓国への就航はジンエアーの仁川線に続く2路線目です。清州発の第1便には172人が搭乗し、北九州空港に到着すると消防車による歓迎放水がありました。就航記念式典で、エアロK航空の姜秉浩社長は「観光、ビジネス、文化交流が活性化することを祈っています」と話しました。



まちの話題

KANDA TOWN TOPICS

1日救急隊長が活躍！ 家族で学ぶ「救急の日」

9月6日、中央公民館で「救急の日」のイベントが開催されました。特別に1日救急隊長を務めたのは、馬場小学校6年生の栗田紗帆さんと安部雪乃さん。当日は、救急パンフレットの配布や応急手当の体験の呼びかけを行いました。応急手当体験コーナーでは、AEDの使い方・胸骨圧迫や人工呼吸の実践が行われ、救急車・救助工作車の展示、防火衣試着、はしご車搭乗体験では、たくさんの家族の笑顔が見られました。



ラグビー U-17 日本代表の神崎選手 交流競技会での活躍を報告

9月26日、大分東明高校2年生の神崎喜裕さんが町長を表敬訪問しました。神崎さんは、南原小・新津中出身で、8月に開催された「第33回 日・中・韓ジュニア交流競技会(ラグビー競技)」のU-17日本代表メンバーに選出され、見事優勝。スクラムの最前列であるプロップとしてチームを支え「日本代表になって嬉しかったが、緊張やプレッシャーもあった。この経験を活かし、パワーやスタミナをつけていきたい」と語りました。



北公ラジオ体操のつどい ラジオ体操優良団体等表彰を受賞

北公ラジオ体操のつどいが2025年度ラジオ体操優良団体等表彰を受賞し、9月3日に表彰状授与式が行われました。この団体は、2018年から始まった町内公民館での活動前からラジオ体操を行っており、現在ではラジオ体操第2も取り入れ、筋力強化に努めています。参加者の平均年齢は80歳を超え、毎日約20人が集まっています。今後は、子どもラジオ体操の復活を目指し、幅広い年齢層が参加できるよう活動を展開していく予定です。



100歳を迎えた方の長寿を祝う 社会福祉協議会会長と町長が訪問

敬老の日に合わせ、苅田町社会福祉協議会の竜口会長と町長が9月30日、今年度100歳を迎えられる方々のご自宅などをお祝いに訪れました。対象となった方は男性4名、女性10名の14名。今年は、このうち6名の方を訪問し、長寿の祝い金などを手渡しました。訪問を受けた前田ツユ子さんは、お祝いの言葉に「ありがとうございます」と感謝の気持ちを述べ、とても喜んでいました。

